

4月定例記者会見の概要

1 日時 令和3年4月5日（月）9時30分～10時30分

2 場所 本庁舎3階 第一会議室

3 出席者 <報道機関>

- ① 朝日新聞社 南相馬支局（南相馬記者クラブ会員）
- ② 河北新報社 南相馬支局（南相馬記者クラブ会員）
- ③ 毎日新聞社 南相馬通信部（南相馬記者クラブ会員）
- ④ 読売新聞社 南相馬通信部（南相馬記者クラブ会員）
- ⑤ 福島民報社 南相馬支社（南相馬記者クラブ会員）
- ⑥ 福島民友新聞社 相双支社（南相馬記者クラブ会員）

計 6 社

< 市側 >

・市長・総務部長

(テレビ会議)

- ・林副市長・常木副市長・教育長・小高区役所長・鹿島区役所長
- ・復興企画部長・市民生活部長・健康福祉部長
- ・健康福祉部新型コロナ対策担当理事・こども未来部長
- ・経済部長・経済部農林水産担当理事・経済部企業支援担当理事
- ・建設部長・総合病院事務部長・教育委員会事務局長

計 18 人

(司会進行) 秘書課長

(会議記録) 秘書課広報広聴係

【市政報告】

初めに、令和3年度の人事についてです。

4月1日から新たな体制となって、令和3年度のスタートを切りました。

今年度の人事は、令和3年度の行政経営方針や人材育成基本方針の実現、復興総合計画後期基本計画の着実な推進、移住定住やこども政策などの取り組み強化を図るため、適切な配置を行いました。

具体的には、新型コロナウイルスへの対策やワクチンに向けた体制強化のため、新型コロナ対策課を設けることとしました。また、小高パッケージへの取り組み強化のため、小高区地域振興課におだかぐらし担当課長と係長を設置し、移住定住政策を統括する移住定住課を新設しました。

さらに、男女の出会いを創出し出産から子育てまで安心して暮らせるまちづくりの実現を目指し、こども家庭課にこども政策担当課長を配置しました。

加えて、内閣府の地方創生人材支援制度を利用し、これまでの農産物販路拡大のた

めの企業からの派遣1名のほかに、新たに民間専門人材3名の採用を行いました。市が抱える様々な課題を着実に、かつきめ細やかに遂行していけるように、職員一丸となって取り組んで参ります。

続いて、新型コロナウイルス感染症についてです。

市内の感染状況ですが、3月の陽性患者数は、過去最多の37人となりました。市役所でも、3月17日に、市職員で初となる感染者が確認されたほか、市立総合病院に勤務する職員が利用する院内保育所において委託事業者の感染が確認されました。幸い、大きな感染拡大は防げていますが、屋内公共施設の点検および消毒を実施したほか、職場内に仕切り板などを設けるなど、一層の感染拡大防止対策を進めてまいります。

加えて、今後に向けては、ワクチン接種や経済対策をしっかりと実施してまいります。

まず、新型コロナのワクチン接種に向けた動きですが、4月1日の広報紙配布に併せ、65歳以上の高齢者の皆さんに向けたワクチンの接種のお知らせを全戸配布いたしました。4月3日には、医療従事者、市職員合同のワクチン接種リハーサルを行いました。

実際の接種については、4月24日、25日の高齢者施設の巡回接種を皮切りに開始します。

一般の高齢者の集団接種については、ワクチン確保の目処が立ち次第開始できるよう準備していますが、5月の上旬中旬になるものと見込んでいます。

また、経済対策として、昨年度から継続しています市の事業継続支援金は、各区商工会、商工会議所の協力をいただき、2回目となるチラシ配布を実施したことから、申請件数は3月31日時点で109件となりました。1、2月分の申請は申請期限が4月末までとなっていますので、引き続き、事業の周知に努めてまいります。

市民の皆さまには、これまでも様々な感染防止対策に努めていただいております、改めて御礼申し上げます。自分自身や大切な家族の命を守るために、今後も気を緩めることなく、感染防止対策の徹底にご協力いただきますよう、強くお願い申し上げます。

それでは、前回の記者会見から最近までの出来事についてご報告申し上げます。

はじめに、災害対応についてです。

3月20日に、宮城県沖を震源とする地震が発生し、当市では震度5弱を記録しました。市では、連日の余震もあり、家屋への被害が予測されたことから、4か所の避難所を開設しました。また、翌21日は大雨が降るとの予報があったことからブルーシートの配布を行いました。

次に、東日本大震災追悼式についてです。

3月11日、市民文化会館ゆめはっとで、令和2年度南相馬市東日本大震災追悼式を執り行いました。

発災から10年という節目の年の式典でしたが、今年度も昨年同様、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、一般の参列はご遠慮いただくなど、規模を縮小して挙

行しました。

次に、聖火リレーとセレブレーションについてです。

3月25日に東京2020オリンピック聖火リレーが開催され、併せて、雲雀ヶ原祭場地において聖火リレーの到着を祝うセレブレーションが開催されました。

相馬野馬追は地域の平和と安寧を祈願する祭事です。今回は、新型コロナウイルスの終息祈願や復興の御礼も込め、騎馬会の協力をいただき、騎馬武者によるお先乗りや、螺役による礼螺を披露しました。

この模様は、後日、南相馬チャンネルで放送する予定です。

ボランティアとして総勢135名の皆様にご協力いただきました、改めて感謝申し上げます。

次に、市議会定例会についてです。

第1回南相馬市議会定例会は、3月26日に閉会しました。

この議会では、「南相馬市一円融合の地域活性化条例制定」をはじめ、追加提案を含む議案47件について、全て原案どおり可決いただきました。

今回可決された条例には、手話を言語として位置づけ、手話をはじめとする障がい特性に応じたコミュニケーション手段の普及促進に取り組む「南相馬市手話言語の普及及び障がい者コミュニケーション支援条例」も含まれております。ご覧のように、記者会見の冒頭の市政報告も手話通訳者の方をお呼びして、通訳いただいております。新年度にあたりまして、新しい予算、体制が整いましたので、しっかりと事業計画を進めてまいりたいと考えております。

次に、NIKOパークの開所式についてです。

4月3日に、小高区の子どもの遊び場「NIKOパーク」において開所式を執り行いました。1日3クールの入れ替え制としていますが、新型コロナウイルス感染症への対策として、当面は1クール先着75人の人数制限を設けております。ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

続いて今後の主な話題について触れたいと思います。

はじめに、小高小学校開校式についてです。

4月6日に、小高小学校開校式を執り行います。

小高区では、3月27日に、小高区4小学校合同閉校記念式典を開催しました。4月から新たな小高小学校が開校となります。

開校式では、新しい校旗の贈呈や記念モニュメントの除幕式が行われる予定です。

次に、鹿島区のトレーニングセンターについてです。

これまで鹿島区に整備した健康づくりトレーニングセンターの愛称を募集していましたが、選考の結果、「スキット千倉」に決定しました。

今後は、4月7日から14日にかけて、施設の内覧や利用者の事前登録などを進め、4月18日に開所式を執り行います。

コロナ禍で身体を動かす機会が減っています。健康増進のためにも、新型コロナの対策を行いながら、ご利用いただきたいと思います。

次に、メモリアルパークの除幕式についてです。

4月24日土曜日に、北泉海浜総合公園のメモリアルパークにおいて、東日本大震災による犠牲者の慰霊と、震災の記憶を後世に伝えるモニュメントの除幕式を執り行います。除幕式後に、メモリアルパークは一般開放となります。

次に、春季競馬大会についてです。

4月25日日曜日、第75回相馬野馬追振興春季競馬大会を祭場地で開催いたします。当日は、祭場地内で、実行委員会主催による野馬原マルシェや、市主催による馬とのふれあいコーナーを設ける予定です。

次に、成人式についてです。

市では、延期していた令和3年の成人式を5月2日に開催する予定です。

しかし、県内で緊急事態宣言などが発令された場合は再延期、首都圏や隣接県で発令された場合は、再延期か開催方法の変更を含め検討する予定としており、状況を見極めて参ります。

多くの市民の皆さまが心配している新型コロナウイルスのワクチン接種を進めることを中心に、状況によっては追加の経済対策も検討します、決まり次第お知らせしますので、宜しく願いいたします。

【民間専門人材3名の紹介】

- ・健康福祉部 参事（健康政策担当）下山宏治
- ・経済部 参事（シティプロモーション担当）浜口周也
- ・経済部 参事（観光政策担当）佐々木康之

【各部からの報告（資料提供のみ）】

◆経済部

- ・第75回_相馬野馬追振興春季競馬大会の開催について

◆建設部

- ・メモリアルパークのモニュメント除幕式について

◆教育委員会

- ・小高小学校開校記念式典の実施について
- ・成人式の開催の目安について

【質疑応答】

質問1：

メモリアルパークについて、この施設に何があって、今後どのような施設にしたのか教えてください。

また、慰霊碑に名前が刻まれている方は何名ですか。

回答1：建設部長

震災時の津波と同じ11.1mの高さで建設し、頂上に設けた広場に慰霊碑を建

立しました。慰霊碑にはご家族の同意を得られた804名の方のお名前が刻まれています。

回答1：市長

震災から10年経ち、津波被害の復旧が概ね完了しました。この10年を機に、津波を忘れないということもありますが、海との融合のシンボリックな場所になると思います。11.1mの高さがあり、海が見えるようにしました。東日本大震災を忘れないということと、これからも生きていくという思いを込めた施設になればいいと思います。

質問2：

地震や津波による直接死と震災関連死の方の人数を正確に教えてください。

メモリアルパークの面積と総工費を新たな資料をください。

回答2：市長

直接死が636名、震災関連死が520名、計1,156名です。

後ほど資料をお渡しします。

質問3：

成人式についてですが、宮城県に「まん延防止等重点措置」が適用されます。資料の判断目安にある「隣接県に対し、緊急事態宣言の発令又はまん延防止等重点措置の適用が決定された場合」に該当する状況でしょうか。具体的な検討状況について、教えてください。

回答3：市長

4月5日から宮城県に「まん延防止等重点措置」が適用されるということで、判断が必要な状況です。再延期または対象地域の方々に自粛をお願いするといった方法を中心に検討中です。もう少し状況を見極めたいと思っております。新成人の約半数は首都圏や県外にお住まいの方です。できるだけ一同に集まる機会を作りたいと考えております。

質問4：

成人式について、判断の目安となる時期はいつですか。

回答4：市長

現在、成人式に関係する貸衣装や理美容関係について情報収集をしています。

今週末または来週に結論を出さなくてはいけないと考えています。

質問5：

メモリアルパークは、震災の犠牲者を追悼する中心的な施設になりますか。

回答5：市長

備蓄倉庫や各行政区単位に慰霊碑はありますが、公共で作った唯一の慰霊碑、メモリアルパークとなります。

以上